



2022年3月30日

株式会社オガワエコノスに対する 「〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン」の実行について

株式会社広島銀行(頭取 部谷 俊雄)では、株式会社オガワエコノス(本社:広島県府中市、代表取締役 小川 勲)に対して「〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン」を実行しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本件は「〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン」の第1号案件です。

記

1. 案件概要 (「〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン」の概要は別紙1をご参照ください)

契約締結日	2022年3月30日
融資金額	1億円
融資期間	5年
SPTs (サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット)	環境保全を推進する地域人財の育成に資する活動として、「出前授業実施数」「高校生以下を対象とした工場見学受入件数」「環境啓発イベント実施数」「マイスター※認定クラス数」をSPTsとして設定 ※当社の環境学習に参加し、環境活動目標を設定した個人・団体を「エコノス SEED マイスター」として認定する当社独自の認定制度
その他	サステナビリティ・リンク・ローンとしての適合性およびSPTsの合理性について、ひろぎんエリアデザイン株式会社からセカンドオピニオン(詳細:別紙2)を取得しております。

2. 企業概要

会社名	株式会社オガワエコノス
所在地	広島県府中市高木町502-10
代表者	小川 勲
業種	廃棄物処理業
事業内容等	一般・産廃棄物の処理・再生、石炭代替燃料RPFの製造、食品リサイクル堆肥の製造、浄化槽・下水処理施設管理等

以上



広島銀行では、SDGsへの取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDGs17の目標アイコン」を明示しています。

【SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標】
2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。
持続可能な開発のための17の目標と169のターゲットで構成。

本件に関するお問い合わせ先
株式会社 広島銀行 法人企画部
TEL (082)247-5151 (代表)

「〈ひろぎん〉サステナブルローン」について

○特長

- ・環境省等が定めるガイドラインに整合したファイナンスフレームワーク「〈ひろぎん〉サステナブルローン」※を策定し、そのもとで「サステナビリティ・リンク・ローン」と「グリーンローン」の 2 商品をご用意し、ニーズに応じてご利用いただけます。

サステナビリティ・リンク・ローン	<ul style="list-style-type: none"> ・ ESG・SDGs に関する目標を設定いただき、達成した場合に金利引下げを実施 ・ 設定いただく目標等にかかる外部レビューと年 1 回のレポートイングが必要
グリーンローン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際原則や政府指針に掲げるグリーンプロジェクトにかかる設備資金のみが対象 ・ 年 1 回のレポートイングが必要

※ファイナンスフレームワークのグリーンローン原則等に対する整合性について株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得しています。

- ・ 対外 PR 支援として、融資実行時に当行よりニュースリリースを行い、サステナビリティへの取組みの対外公表をご支援します。

○商品概要

商品名	〈ひろぎん〉サステナブルローン	
	サステナビリティ・リンク・ローン	グリーンローン
取扱店	全店	
対象となる方	以下のすべてを満たす法人のお客さま	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ESG や SDGs に関する目標設定を行うこと ・ 外部レビュー※、年 1 回のレポートイング（銀行への進捗状況報告）を実施 <small>※原則ひろぎんエリアデザインにより実施</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・ グリーンプロジェクトへの設備投資を行うこと ・ 年 1 回のレポートイングを実施
お使いみち	運転資金・設備資金	グリーンプロジェクトにかかる設備資金
ご融資金額	30 百万円以上	
ご融資期間	2 年以上（固定金利は 10 年以内）	1 年以上（固定金利は 10 年以内）
ご融資利率	当行所定の金利	
	目標達成の場合、金利引下げ※実施 ※金利引下げのみ、もしくは金利引下げ幅の一部を寄付するタイプのいずれかをご選択いただけます	—
ご融資形式	証書貸付・当座貸越	証書貸付
ご返済方法	当行所定の審査によります	
担保・保証人		
取扱手数料	組成難易度に応じてスキーム構築手数料が必要となります	

セカンドオピニオン

株式会社オガワエコノス

〈ひろぎん〉サステナビリティ・リンク・ローン

発行日：2022年3月30日

発行者：ひろぎんエリアデザイン株式会社

本文書は広島銀行(以下、「貸付人」という)と、株式会社オガワエコノス(以下、「借入人」という)の間のサステナビリティ・リンク・ローン(以下、「本ローン」)について、ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)等の「サステナビリティ・リンク・ローン原則」及び環境省の「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」に適合していることを確認したものであり、以下にその評価結果を報告する。

1. KPIの選定

本ローンにおいて選定されたKPIは以下の(1)から(4)の観点より適切なものが設定されており、サステナビリティ・リンク・ローン原則に適合していると評価する。

(1)借入人の包括的な社会的責任戦略

借入人は、広島県府中市に本社を置く1952年3月創業の環境総合サービス会社である。衛生事業からスタートし、地域の発展に伴い環境資源再生事業を拡大してきた。企業理念である「エコロジーをテーマに地域社会と地球の未来に貢献する『自然にやさしい』『人にやさしい』会社」を実現すべく、地球環境を考えながら、足元の小さなことから始める(Think Globally, Act Locally)を行動指針に積極的な活動を行っている。

2005年から毎年自社のCSR・SDGsに係る活動レポートを作成・公表している。

企業理念

地球環境を考えながら、足元の小さなことから始める
それが、Think Globally, Act Locally

株式会社オガワエコノスは、『Think Globally, Act Locally』を行動指針として、企業理念である『エコロジーをテーマに地域社会と地球の未来に貢献する「自然にやさしい」「人にやさしい」会社』を実現すべく積極的な活動を行います。

ECONOS
CSR・SDGs
Report 2021



ECONOS 株式会社 オガワエコノス

会社HPより抜粋

借入人の事業内容は大きく分けると4つの柱がある。

- ①「アクア事業」では、浄化槽管理や下水道管理等の自治体から一般家庭に至るまでの都市衛生、汚水処理等に係る水環境の維持管理業務を幅広く行っている。
- ②「リサイクル事業」では、自治体、行政と連携した生活・産業廃棄物の資源再生を目的とした事業を行っている。大型家電解体から、堆肥生産まで多方面に展開している。
- ③「環境配慮型再生可能エネルギー利用の促進事業」では、産業廃棄物から製造できるRPF(※1)を、広島、岡山、仙台の3工場で年間約5万tを生産している。また、間伐材や廃材を利用したバイオマス燃料チップの製造も行っている。
- ④2019年から開始した「地域と連携した環境教育事業」(「エコノスSEEDプロジェクト(※2)」)では、出前授業や工場見学等の「見る、体験する、考える」の参加型環境教育を通して「地域の環境を守る人財の育成を目的とした活動」に取り組んでいる。

創業以来取り組んできた環境サービス事業がSDGsの理念に通じることから、2020年1月1日には「オガワエコノスSDGs行動宣言」を行い、より積極的に持続可能な地域づくりに関する事業を拡大している。

また、借入人は広島県のALL for SDGs HIROSHIMAの協賛企業の一つで、広島県内のSDGsの啓発活動にも寄与している。



会社HPより抜粋



ALL for SDGs
HIROSHIMA HPより抜粋

※1 RPF(Refuse Paper and Plastic Fuel):主に産業廃棄物のうち、マテリアルリサイクルが困難な古紙及びプラスチック類を原料とした高品位の固形燃料

※2 SEEDはSustainable Environment Education for Developmentの略

(2) KPIの概要

借入人はKPIとして、「出前授業数」、「高校生以下の工場見学件数」、「マイスター認定クラス数」及び「環境啓発イベント数」を選定した。

借入人は環境学習の一環として、自治体等と連携し地域の小学生等を対象とした「出前授業」や、小学生から社会人まで幅広い年代を対象とした「工場見学」・「環境啓発イベント」等の活動に取り組んできた。「マイスター制度」とは、エコノスSEEDプロジェクト「見る・する・考える」の環境学習に参加して今後の環境活動目標を設定した個人・団体を「エコノスSEEDマイスター」として認定する借入人独自の認定制度で、2020年2月より借入人がSDGs事業の一環として取り入れたものである。

本KPIに係る活動については、借入人が2019年から実施しているエコノスSEEDプロジェクトの一環として、地域や地球の環境保全を推進していく人財の育成に資する活動により積極的に取り組むこととしたものである。

(3) サステナビリティ目標とKPIの関係

借入人は次のとおり「オガワエコノスSDGs行動宣言」を掲げている。「オガワエコノスは”Think Globally, Act Locally”を掲げ、『自然と人にやさしい会社を実現する』という企業理念のもと、適正処理、高品質の事業活動と社会貢献活動を通じてSDGsの達成に貢献し、地域社会とともに持続的に成長していくことを目指します。」

そして、以下の3つの重要取組項目を設定している。

- ① コア・コンピタンスとしての環境保全事業の強化
- ② 地域と連携した環境教育活動の展開
- ③ 働き方改革の促進

このうち、「②地域と連携した環境教育活動の展開」については、借入人が実施している「エコノスSEEDプロジェクト」が地域・行政・学校等と連携した、『見る、する、考える』環境教育活動による『地域や地球の環境保全を推進する人財』の育成を通して、継続的に社会貢献活動に取り組むものであり、本ローンのKPIと一致しており整合性があるといえる。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



オガワエコノスは「Think Globally, Act Locally」を掲げ、「自然と人にやさしい会社を実現する」という理念のもと、適正処理、高品質の事業活動と社会貢献活動を通じて、SDGsの達成に貢献し、地域社会とともに持続的に成長していくことを目指します。

2020年1月1日 代表取締役 小川 勲

重点取組項目

- 1、コア・コンピタンスとしての環境保全事業の強化
①RPF（石炭代替燃料）製造による環境配慮型再生可能エネルギー利用の促進、②適正処理によるリサイクル率の向上、③水環境を維持し、河川海洋の汚染防止を事業として、地域の環境保全活動を積極的に行います。
- 2、地域と連携した環境教育活動の展開
地域・行政・学校等との連携により、「見る、する、考える」環境教育活動（エコノスSEEDプロジェクト）を展開し、「地域や地球の環境保全を推進する人財」の育成を通して、継続的に社会貢献活動に取り組みます。
- 3、働き方改革の促進
働き方改革を進め、①コンプライアンス整備によるガバナンスの構築、②アライアンス強化による働きやすい職場環境づくり、③社員がリライアンスを背景に自己実現や社会貢献を通して「いきがい」を持ち、社会から信頼される「いい会社」へ成長していくことを目指します。

ECONOS CSR・SDGs Report 2021より抜粋

(4)KPIの有意義性

自己と社会の変容を通じて、持続可能な社会の実現を目指して行う学習・教育活動を、「持続可能な開発のための教育(Education for Sustainable Development:ESD)」という。「国連ESDの10年(2005年～2014年)」の後継として、2020年～2030年におけるESDの国際的な実施枠組である「持続可能な開発のための教育:SDGs実現に向けて(ESD for 2030)」が2019年11月の第40回ユネスコ総会で採択され、12月の第74回国連総会で承認された。「ESD for 2030」は、ESDの強化とSDGsの17のすべての目標実現への貢献を通じて、より公正で持続可能な世界の構築を目指すものである。

またESD for 2030の採択を受けて、本枠組下で取り組まれるべき具体的な行動を示すロードマップがユネスコより公表され、その中で5つの優先行動分野及び6つの重点実施領域が示された。

本KPIは、優先行動分野のうち地域レベルでの活動の促進及び重点実施領域のうちの行動を促すための普及活動に該当する部分であり、SDGs実現に向けた国際的な情勢に合致することから有意義な取組といえる。



2. サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(SPTs)の測定

本ローンのSPTs設定については、以下の(1)から(3)の観点より適切な内容で設定されており、サステナビリティ・リンク・ローン原則に適合していると評価する。

(1)SPTsの測定

借入人と貸付人はSPTsの客観性、計画の妥当性、レポート等々を踏まえて貸出条件及びSPTsを設定した。

(2) SPTsの内容

上記にて記載した「出前授業数」、「高校生以下の工場見学件数」、「マイスター認定クラス数」及び「環境啓発イベント数」について、借入人は2022年度から2026年度にかけて下表のとおり拡大することをSPTsとして設定した。

【借入人のSPTs】

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
出前授業数	16件	18件	20件	22件	23件
高校生以下の工場見学件数 (外国人見学件数)	22件 (3件)	24件 (4件)	26件 (5件)	27件 (6件)	28件 (6件)
マイスター認定クラス数	5件	6件	8件	9件	10件
環境啓発イベント数	3件	4件	5件	5件	6件

借入人が掲げる目標は、借入人の過去4年の実績と比較して、更なる件数拡大に取り組んでいると判断でき、十分に野心的であるといえる。特に「マイスター認定クラス数」及び「環境啓発イベント数」については、2019年まで実績がないにも関わらず概ね毎年1件ずつの拡大を目標としていることから十分に野心的であるといえる。

【借入人の過去実績】

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
出前授業数	3件	5件	16件	14件
高校生以下の工場見学件数 (外国人見学件数)	20件 (3件)	22件 (4件)	10件 (5件)	19件 (6件)
マイスター認定クラス数	0件	0件	4件	5件
環境啓発イベント数	0件	0件	2件	3件

(3) SPTsの適切性

またSPTsの適切性については第三者機関である、ひろぎんエリアデザインからセカンドオピニオンを取得している。

3. ローンの特性

評価対象の「ローン特性」は、以下の観点からサステナビリティ・リンク・ローン原則に適合しているといえる。

貸出期間中に適用される金利は、以下の要件の達成状況によって決定される。

- (1) 借入人は貸付人に取組についての進捗状況を書面にて報告すること。
- (2) SPTsの目標数値を達成すること。

(1)が遵守されていても、(2)が未達の場合には、スプレッドは変わらない。(1)が遵守され且つ(2)が達成される場合、スプレッドは縮小されるように設計されている。よって、貸出条件とSPTsは連動しているといえる。

4. レポーティング

評価対象の「レポーティング」は、以下の観点からサステナビリティ・リンク・ローン原則に適合しているといえる。

(1) 貸付人への報告

借入人はSPTsの達成状況を書面にて貸付人に提出する予定である。これにより貸付人はSPTsの達成状況に関する最新の情報を入手できる。

(2) 一般開示

借入人は今回の資金調達がサステナビリティ・リンク・ローンに基づくものであることを貸付人のウェブサイトで表明することを企図している。SPTsに関する情報を一般に開示することにより、透明性を確保する。

5. 検証

評価対象の「検証」は、以下の観点からサステナビリティ・リンク・ローン原則に適合しているといえる。

借入人はサステナビリティ・リンク・ローンのフレームワークに関して、前述の「1. KPIの選定」、「2. SPTsの測定」、「3. ローンの特性」、「4. レポーティング」に関して、自らの対応について客観性評価が必要と判断し、ひろぎんエリアデザインによるレビュー及びSPTsとして設定する指標の検証を依頼した。

当該依頼を受け、ひろぎんエリアデザインは評価対象のサステナビリティ・リンク・ローン原則への適合性について確認の上、セカンドオピニオンを作成した。貸付人もひろぎんエリアデザインがセカンドオピニオンを作成することを承諾している。ひろぎんエリアデザインのセカンドオピニオンは貸付人に提供される。

ひろぎんエリアデザイン 会社概要

社名 ひろぎんエリアデザイン株式会社

代表者 取締役社長 前田 昭

所在地 〒730-0031
広島県広島市中区紙屋町1丁目3-8

設立 2021年4月1日

資本金 1億円

株主 株式会社ひろぎんホールディングス

TEL 082-504-3016

留意事項

1. ひろぎんエリアデザインの第三者意見について

本文書については貸付人が、借入人に対して実施するサステナビリティ・リンク・ローンについて、ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)等の「サステナビリティ・リンク・ローン原則」及び環境省の「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」への適合性、準拠性、設定する目標の合理性に対する第三者意見を述べたものです。その内容は現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

ひろぎんエリアデザインは当文書のあらゆる使用から生じる直接的、間接的損失や派生的損害については、一切責任を負いません。

2. 広島銀行との関係性、独立性

ひろぎんエリアデザインはひろぎんグループに属しており、広島銀行及びひろぎんグループ企業との間並びにひろぎんグループのお客さま相互の間における利益相反のおそれのある取引等に関して、法令等に従い、お客さまの利益が不当に害されることのないように、適切に業務を遂行いたします。

また、本文書にかかる調査、分析、コンサルティング業務は広島銀行とは独立して行われるものであり、広島銀行からの融資に関する助言を構成するものでも、資金調達を保証するものでもありません。

3. ひろぎんエリアデザインの第三者性

借入人とひろぎんエリアデザインとの間に利益相反が生じるような、資本関係、人的関係等の特別な利害関係はございません。

4. 本文書の著作権

本文書に関する一切の権利はひろぎんエリアデザインが保有しています。ひろぎんエリアデザインの許諾を得ることなく、本文書の全部または一部を複製、改変、翻訳、頒布等を行うことは禁止されています。